

ふりがな たけお あやこ		
氏名 武雄 文子		
学 歴 及 び 学 位		
2013年 3月	大阪府立芦間高等学校 卒業	
2017年 3月	京都市立芸術大学 美術科 卒業	
2017年 4月	京都市立芸術大学 美術研究科 入学	
2019年 3月	京都市立芸術大学 美術研究科 修了	
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等		
現 在 の 職 務 の 状 況		
職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
任期制助手	共通教育センター	授業準備, 施設管理

教 育 研 究 業 績

研究分野	研究内容のキーワード
銅版画	銅版画とコピー機の表現の融合

事 項	年 月 日	概 要
(教育方法の実践例) 1. 令和4年度アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業(外壁アート)	2022. 3/19 3/26	子どもたちの感性を磨き、豊かな創造性を育む文化芸術を体験する機会を創出する「アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業」として、文芸セナリオの外壁改修工事に合わせて外壁アートを制作することで、近江八幡市の歴史文化の価値や魅力を建物の意匠を通して発信し地域の活性化につなげることを目的として近江八幡市より依頼を受けて、市内の子どもたちを対象にした「外壁アートワークショップ」を市役所と成安造形大学職員4名、学生6名とで協力して企画し、3回実施した。
(作成した教科書、教材)		

(教育上の能力に関する大学等の評価)		
(教育上の実務経験を有する者についての特記事項)		
(教育に関するその他事項)		

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(作品) ・展示その他 1. めくる・ば	グループ展	2015. 11/10-11/22	Division/京都	京都市立芸術大学版画専攻で授業の一環として行った3年生による展示。自身の作品以外にも版と作品を同時に展示する合作を制作した。
2. 16回南島原市セミナー現代版画展	公募展	2016. 2/25-3 /5	ありえコレジヨホール/長崎	日本で初めての銅版画が制作された南島原市で毎年開催されている版画公募展。入選。

3.	京都市立芸術大学 2016 年度制作展	制作展	2017. 2/8-2/12	京都市美術館/ 京都	京都市立芸術大学卒業制作展、京都市美術館で展示。
4.	PORTO DI STAMPA2017	グループ展	2017. 8/4-8/13	アートゾーン神楽岡/京都	京都市立芸術大学版画専攻が東京芸術大学の学生と毎年行なっている展示。
5.	第 42 回全国大学版画展	グループ展	2017. 12/2-12/17	町田市国際版画美術館 /東京	日本の美術大学における版画教育の進歩発展と版による造形表現の研究を目的として開催している展示。出品。
6.	17 回南島原市セミナーヨ現代版画展	公募展	2017. 2/23-3/3	ありえコレジヨホール /長崎	日本で初めての銅版画が制作された南島原市で毎年開催されている版画の公募展。入選。
7.	京都市立芸術大学 2017 年度制作展	制作展	2018. 2/7-2/11	京都市立芸術大学学内 /京都	京都市立芸術大学制作展、自身が普段制作を行っている大学の銅版画工房を使って個展形式で行った展示。
8.	京都銀行 美術支援制度	収蔵	2018 年度	京都銀行/京都	制作者の美術研究費用を支援するもので、優れた芸術の創造・振興に寄与することを目的として京都銀行が 2001 年に創設。買い上げ、収蔵。
9.	第 43 回全国大学版画展	グループ展 収蔵	2018. 12/1-12/16	町田市国際版画美術館 /東京	日本の美術大学における版画教育の進歩発展と版による造形表現の研究を目的として開催されている展示。優秀賞。 町田市国際版画美術館 収蔵。
10.	京都市立芸術大学 2018 年度制作展	制作展	2019. 2/8-2/11	京都市立芸術大学学内 /京都	京都市立芸術大学修了制作展、大学内の版画専攻の構想室を使って個展形式で行った展示。同窓会賞。
11.	銅版画工房のカレンダー展 2020	グループ展	2019. 12/9-12/21	シュ・ドゥーブル/大阪	所属していた紅梅町版画工房が毎年参加している銅版画工房のカレンダー展。カレンダーを制作し出品。
12.	武雄文子個展	個展	2020. 3/13-3/23	GAMOYON Gallery/大阪	個展。当ギャラリーは開設初年度。修了制作の作品や新作を多数展示。
13.	紅梅町版画工房 5 人展	グループ展	2020. 3/19-3/24	ギャラリーアライ/神戸	紅梅町版画工房に所属している 5 人の作家でのグループ展。
14.	紅梅町版画工房 FINAL EXHIBITION	グループ展 収蔵	2020. 7/6-7/11	ギャラリーHOT/大阪	紅梅町版画工房が閉まることになり、最後の工房展として開催。出品。 関西医科大学の新校舎に収める作品の選出会も同時に行われ、買い上げ、収蔵。
15.	Drawing in my room	グループ展	2021. 3/5-3/22	GAMOYON Gallery/大阪	GAMOYON Gallery 企画のグループ展。出品。
16.	flow view	個展	2021. 7/2-7/19	GAMOYON Gallery/大阪	GAMOYON Gallery ギャラリーでの個展。流動する景色をテーマに風景をモチーフした作品を制作、展示。
17.	Decalcomania of vision	個展	2022. 5/24-5/29	ギャラリー恵風/京都	ギャラリー恵風 1F での個展。デカルコマニーをテーマに左右対称の作品を制作、展示。
18.	てんかいするメソッド	グループ展	2022. 9/2-9/24	成安造形大学 ギャラリーアートサイト、 ギャラリーウィンドウ /滋賀	成安造形大学キャンパスが美術館の企画。作家が独自に実践する制作方法（メソッド）に焦点をあて、対象が展開/転回されていく過程を作品と同時に展示。
19.	Relic	個展	2022. 9/23-10/3	GAMOYON Gallery/大阪	GAMOYON Gallery ギャラリーでの個展。自身が拾ってきた石をメインモチーフに作品を制作、展示。
20.	日韓藝術通信 7 GIFT	グループ展	2022. 10/8-10/17	大原野スタジオギャラリー /京都	関西と韓国のアーティストたちによって開催されてきた展覧会。「GIFT/贈り物」をテーマとして、誰かへ贈ることを想定して制作された作品と韓国と日本の作家たちの間で断続的に続く往復書簡を展示。
22.	みちとゆくえ うつろいのしかた 和田ながら/わたしたちのフリーハンドのアトラス	ワークショップ	2022. 10/18-11/12	成安造形大学 バーストップギャラリー /滋賀	成安造形大学キャンパスが美術館の企画。和田ながらさんの世界を遊びなおすことをめざした地図にまつわるリサーチプロジェクト「わたしたちのフリーハンドなアトラス

<p>23. 漁師と芸術家 ～琵琶湖を問う、琵琶湖を 読む～</p>	<p>グループ展</p>	<p>2022. 11/2-11/15</p>	<p>和邇図書館/滋賀</p>	<p>ス」のワークショップに参加。成安造形大学の蜘蛛の巣をマッピングした蜘蛛の住所録をアクリル板にシルクスクリーンで制作、展示。</p> <p>和邇漁港の漁師駒井健也さんと版画家の松元悠さんの企画されたワークショップに参加し、そこで制作した作品を他の参加者と一緒に和邇図書館で展示。11/3にはイベント「琵琶湖の似顔絵屋さん」、「陶器のお魚色つけ体験」を開催。</p>
<p>24. 第 41 回 明日をひらく絵画展 上野の森美術館大賞展</p>	<p>公募展</p>	<p>2023. 4/29-5/10</p>	<p>上野の森美術館/東京</p>	<p>可能性に富んだ作家を顕彰する目的で、昭和 58 年に制定されました。963 点の作品の中から 141 点の作品が選出されました。入選。</p>
<p>24. 日韓藝術通信 8</p>	<p>グループ展</p>	<p>2024. 8/23-9/4</p>	<p>インサ・アート・センター/韓国ソウル市</p>	<p>関西と韓国のアーティストたちによって開催されてきた展覧会。第 8 回目は韓国のインサ・アート・センターで開催。</p>
<p>25. trace a lake</p>	<p>個展</p>	<p>2024. 4/26-5/6</p>	<p>GAMOYON Gallery/大阪</p>	<p>GAMOYON Gallery ギャラリーでの個展。琵琶湖漁業に関わる中で琵琶湖に行む指標としてのえり漁のあり方に興味を持ち、えりをモチーフに作品を制作し、展示を行いました。</p>
<p>(地域における専門分野を通じた活動)</p> <p>1. 一日限りの BIWAKO アーティスト・イン・レジデンス</p> <p>2. BIWAKO アーティストインレジデンス</p> <p>3. 漁師と芸術家 ～波を紡ぎ、営みを織る～</p>		<p>2022. 7/2 2022. 8/20(オンライン発表会)</p> <p>2023. 10/21, 10/22</p> <p>2023. 12/5-12/10</p>	<p>和邇漁港 Zoom</p> <p>和邇漁港・民宿山宗</p> <p>滋賀県立美術館 Lab</p>	<p>和邇漁港の漁師駒井健也さんと版画家の松元悠さんの企画されたワークショップへ参加した。</p> <p>1 日琵琶湖の伝統漁法であるえり漁を体験し、その時の経験や見たもの拾ったもので作品を制作し、オンライン発表会で琵琶湖関係者、滋賀県美術館学芸員、美術評論家などを招集し発表を行った。</p> <p>和邇漁港の漁師駒井健也さんと武雄文子、運営サポーターに松元悠と仲西えりを加え、4人でBIWAKOアーティストインレジデンス実行委員会を発足しました。</p> <p>「滋賀をみんなの美術館に」の助成を受け、芸術家が琵琶湖漁業を体験し、作品を制作するBIWAKOアーティストインレジデンスを企画、運営いたしました。</p> <p>BIWAKO アーティストインレジデンスを体験し、制作された作品を滋賀県立美術館のLabで展示を開催。</p> <p>12/9にワークショップ「漁具で描く琵琶湖の世界-スチレン版画づくり体験-」、12/10に「漁師と芸術家のトークセッション」を行いました。</p>